

令和七年度野田小学校だより第七号

南風とともに

つながりと成長をととして

だれもが幸せを感じる学校づくり

文責：校長 大平 啓二

立夏の時季

新緑の鮮やかさが、子どもたちのさわやかな姿と重なります。

五月五日は、暦の上では立夏でした。夏の始まりを、山の若葉から感じる今日この頃です。さて、新年度が始まって一カ月余り、一年生も学校にすっかり慣れ、野田っ子の一員です。二・三年生元気なあいさつ、四・五年生の委員会の朝の意欲的な仕事ぶりは、見ていて、朝からとても元気な気持ちになります。そして、何より六年生のリーダーとしての言動は、さわやかそのものです。困っている一年生や下級生にすばやく寄り添っています。運動会の本格的な練習を前に話し合う姿は、とても頼もしく感じます。

茶摘み体験

二・三年生

五月一日 旧山口小学校



五月一日、今年初の試みとして、二・三年生で茶摘み体験を行いました。毎年、旧山口小学校の跡地及び近辺の茶畑で加津佐小学校の三年生が実施しており、今年は、野田小学校も合同で体験活動を行うことができました。指導してくださったのは、旧山口小学校の卒業生で組織されたグループの方でした。（代表：宇野会長）

三年生は、前日に、総合的な学習の時間で、お茶についての学習を行ってから当日を迎えました。茶畑で、お茶の葉の香りを嗅いだり、茶揉みで、丁寧に手で揉んだり、五感を使った体験ができました。また、加津佐小学校の子どもたちとの交流の場にもなり、子どもたちは、笑顔で過ごしていました。

後日、一日かけて茶煎りをしてくださった指導者の皆さんから、手作りの茶葉が届きました。学校で淹れてのお茶を飲んだり、家庭に持ち帰ったりして喜ぶ姿をみることでできました。今回、指導してくださった宇野会長をはじめ、山口小卒業生の皆様、ありがとうございました。



茶摘み体験の様子が5月14日に、ひまわりテレビにて放映されます。



茶煎りは、窯の熱を感じながらの作業でした。



人権の花「ひまわり」しまばら人権擁護委員協議会と南島原市から「ひまわりの種」をいただきました。今後、人権の花として、学校で育てていきます。十二月の人権集会では、風船の打上げを実施する予定です。子どもたちの人権意識を、年間を通じて育てていきます。

